

1. はじめに

1. 1. 背景

豊橋市総合体育館（以下、「本施設」）は豊橋市のシンボリックなスポーツ施設として市民の日常的なスポーツの場としての役割を担ってきた。しかし、本施設は1989年の竣工から30年以上経過しており、施設の老朽化や設備の機能劣化が進行しており、対応が必要となっている。

1. 2. 目的

本調査は、本施設が2026年に予定されているアジア競技大会の開催を見据えており、国際的なスポーツイベント等を誘致できる施設として、また市民の日常的なスポーツ活動の場として30年先まで利用し続けられるように、施設の状態を把握し、長寿命化が図れる改修を検討するとともに、機能性向上を見込める改修内容の検討を目的とする。

1. 3. 計画期間

本調査は、2026年に予定されているアジア競技大会の開催を前提とした、5年後までの短期的な計画期間と、市民の日常的なスポーツ活動の場として今後30年使い続ける長期的な計画期間を捉え、施設の劣化度を把握し、改修の検討を行う。

1. 4. 本調査の位置づけ

本調査は、「インフラ長寿命化基本計画（平成25年11月）」に基づく地方公共団体の行動計画として定められた「豊橋市公共施設等総合管理方針（平成29年3月）」を上位計画として、「豊橋市公共施設等総合管理方針」に基づく個別施設計画に準ずる改修検討調査として位置づけ、改修設計に繋げるための基礎資料とする。

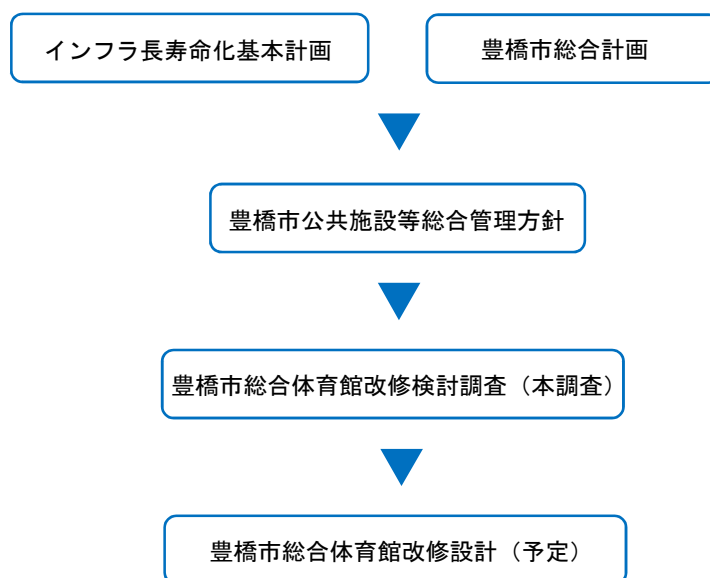


図1.4 本調査の位置づけ